

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 社会福祉援助技術現場実習前指導		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 川本 公代		実務経験 訪問介護員 4年 ディスクゴルフ指導員 3年 レクリエーション・インストラクター19年	
授業の回数 16回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・前期	(必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] ・実習に必要な専門職や利用者とのコミュニケーションを積極的に図れるようにする。 ・自分の意見や考えを持ち、相手にわかる表現ができるようになる。			
[授業全体の内容の概要] ・主体的な学びを軸として適切な自己表現ができるよう、グループワークや振り返り・発表を実施する。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・適切な自己表現ができる。 ・自分の考えをまとめ、相手にわかるように発表できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1. コミュニケーション上手になる 2. 自分の世界を広げる 3. 自分の強みを知り自己紹介に活かす 4. 話し方を工夫する・聴き手を観察する 5. 相手本位で考えて伝える・納得できるように説明する 6. 了解してもらえように依頼する 7. ターミナルケアを考える 8. 依存症を考える		9. 自分も相手も大切にする自己表現 10. 相手に伝わる自己表現を身に付ける 11. 相手を大切にする言葉遣いを復習する 12. ストレスマネジメントを理解する 13. クレーム対応の基本を知る 14. スーパービジョンを理解する 15. 実習目標やそれを達成するための方策を発表する 16. 期末考査	
[使用テキスト・参考文献]		聴く・伝える・共感する技術 便利帖 翔泳社 介護福祉スタッフのマナー 日本能率協会マネジメントセンター	
[単位認定の方法及び基準]		・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考査点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。 2. 平常点(15%) ・授業への参加状況では発言回数が複数回である点を評価する。(5%) ・提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。	

